

二 會社側

會社側ハ從業員ノ要求ハ不當ニシテ誠意ナクモ、トシ十二月
二十二日株主總會後一般株主ト相談會ヲ開キ断乎トシテ最
後示業ヲ決行スヘク態度ヲ決シ翌二十三日別記通知書ヲ書留
内容証明郵便ニテ組合並從業員代表ニ宛發送セリ

三 交渉状況

會社側ハ十二月二十一日組合代表鴻業市郎外五名ヲ會社事務
所ニ招致シ、木村事務長ヨリ

(1) 給料一割減ヲ五分減トシ退職者ヲ一名ニスルコト

(2) 物件賣場四ヶ所ヲ廢止スルコト

(3) 宿直手當ノ廢止

等ヲ諾リタルニ從業員側ハ三項ハ兼知スルモ一項ノ給料五
分減ハ絶対及難ナリト拒絶セル為會社側ハ弟二案トシテ濟年
制ノ適用範囲ヲ擴大シテ六十二歳以上ノ船員四名並雜役一名

改れ負九名ヲ退職セシムルノ案ヲ提示シタルニ從業員側ハ強
イラシク断行スルトセハ會社所定ノ退職手當ノ外四月分ヲ
支給サレタシト要求シ會社側ハ一應重役ニ諮ルヘントテ會見
ヲ了セリ

十二月二十三日會社ニ於テ前記代表會見シ木村事務長ヨリ前
日ノ重役會議ニ諮リタル顛末ヲ述ハタル後退職者ニ對スル規
定手當ノ外ニ給料四ヶ月分支給ノ件ハ到底容認シ難シ且今日
迄從業員各位カ盡セラレタル勞ヲ多トスルモ會社ハ此ノ際元
ノ白紙ニ戻ル外ナキニ付其ノ旨一同ニ傳ヘラレタシト述ハ會
見三十分ニシテ決裂トナレリ

右及申(通)報後也